

## 文教環境分科会

議案第1号 令和3年度鈴鹿市一般会計予算

### 電気自動車用急速充電器の電気使用料などの費用を計上

#### ○電気自動車用急速充電器運用事業費 89万3,000円

(概要) 電気自動車などの次世代型自動車の普及促進を図り、地球温暖化防止、化石燃料の使用抑制、大気汚染物質の排出抑制の取り組みをより一層進めるため、電気自動車用急速充電器の電気使用料などの事業に要する経費を計上するもの。

質疑 収入よりも支出が多くなっているが、収入の増加に向けた利用料の見直し、利用者数の増加に向けた周知方法などの改善について、どのように計画しているのか。

答弁 前年度の使用量に応じて、合同会社日本充電サービスが対価を決定するため、市で料金を決定することは難しい。

ただし、使用量が増えれば、合同会社日本充電サービスからの対価は増える。

今後もホームページなどを活用し、より良い周知方法を検討していく。



電気自動車用急速充電器

### 教職員の資質向上のため、指導助言を行う職員を配置

#### ○学力向上支援事業費 951万8,000円

(概要) これからの時代を見据え、児童生徒の学力向上を目指して、教職員の指導力・課題対応力を育成するため、教職員の資質向上に向けて指導助言を強化するための職員を任用するほか、教職員を対象とした研修講座の開催などに要する経費を計上するもの。

質疑 教職員の資質向上のための職員を配置することで、児童生徒の学力向上を見込めるのか。

答弁 5年目以下の教職員などの指導力、学級運営能力の向上のため、指導助言を行う職員を配置する。

令和2年度のみえスタディ・チェックの結果では、中学校の数学を除く全ての教科で三重県の平均を上回るなど、児童生徒の学力向上の成果が上がっている。